

「香風」



令和3年
7月5日 第4号
発行者
校長 尾島 義弘

重点目標 自分の考えを持ち、主体的に行動し、表現できる子どもの育成

中学校体育連盟（中体連）大会が行われました

6月3日に八女地区陸上大会、15日に筑後地区陸上大会、26日に八女地区大会が行われました。目標に届かず悔しい思いをした部、新人戦からの成長を実感できた部・様々でした。しかし、最後まで諦めないでプレーをする姿を間近で見た顧問の先生方は充実した表情をしていました。3年生は次の大きな目標となる自己の進路実現、1・2年生は次の大きな大会となる新人大会に向けてそれぞれ努力してほしいと思います。

最後の大会を終えた運動部の各部長の「部活動をとおして学んだこと」を紹介します。

○一度決めたことをやり続けることの大切さに気付きました。理由は、新人戦では点差をつけられて負けた相手に、今回負けてしまったけど、前より点差を広げられなかったからです。部活動をとおしていろんなことで成長できたと思うので、いい経験をする事ができたと思います。（野球部 キャプテン）

○チーム全体が一つの目標に向かっていく大切さです。今までの部活動の中で精神的な面やキャプテンとしての自覚を成長させる事ができたと思います。また、最後の大会では、チーム一丸となって諦めることなくプレーできたので良かったです。（サッカー部 キャプテン）

○仲間の大切さを学びました。辛かったり、きつかったりした時は部員のみんながいつも支えてくれたからです。この経験をもとに受験などの次の壁に当たっても支え合っていきたいです。（女子バスケットボール部 キャプテン）

○およそ3年間の部活動をとおして、**努力すれば成長する**ということを知りました。1年生のころよりも100mのタイムが4秒短くなりました。努力はきっと裏切らない、と思います。

（陸上部 キャプテン）

○1年生から3年生までずっとバスケット部に所属していました。部活動をとおして学んだことは、**先輩と後輩の関係**です。しっかり敬語などを使うように頑張りました。そして、人として成長するのも部活動の一環だと知りました。これからは、新チームに頑張りたいです。（男子バスケットボール部 キャプテン）

○「**部活はみんなで支えていくもの**」だということです。今までたくさんつらいことがあったけれど、みんなが支えてくれたことで乗り越えることができました。これから自分は受験生で、みんな大変なことがあるだろうけれど、みんなで支え合っていきたいです。（女子バレーボール部 キャプテン）



学習評価が変わります（その3）

今回は、評価の観点の一つである「主体的に学習に取り組む態度」について少し詳しく説明します。

③「主体的に学習に取り組む態度」の評価について

これまではそれぞれの教科に対する「関心」や「意欲」、取り組む「態度」を中心に評価していました。これらのことは大きくは変わりません。しかし、今回の改訂では、（その1）で書いたように、「自ら学習を調整する」ことが加わりました。

「自ら学習を調整する」とは、わかるためにどうすればよいか考え、友達に聞いたり、自分で調べたりすることです。また、自分の学びを振り返り、何ができるようになったかやどうやってできるようになったかを表現することも当てはまります。

学習評価は今年度から変わりましたので、私たち職員も昨年度から研修を重ねております。